

# 本校の「特色ある教育活動」の取組を紹介します ～上小阿仁小中10月の活動から～



10/24 インターナショナルデー（小学校）

本活動は、児童がゲストティーチャーと外国語を使って交流し合ったり、異文化に触れたりすることを通して、外国語への興味や関心を高めることをねらいとして実施しています。今年で8回目を迎え、これまでに20か国の人々が参加しました。今年度の活動の様子を紹介します。



まずは、ゲストティーチャーと一緒に給食を楽しむことからスタートです。栄養教諭の先生の粋な計らいで、毎年給食はゲストの国の料理を出していただいています。今年は「ジャマイカ料理」でした。ジャマイカ出身のゲストティーチャーから「なつかしい味！とてもおいしい！！」とお褒めの言葉をいただきました。



オープニングセレモニーが終わったら、学年（学団）に分かれてワークショップです。今回は、カナダのダンス、ジャマイカのブレスレット作り、オーストラリアのクリケット、タンザニアの民族衣装着用などの体験活動を行いました。



ワークショップ後半は、子どもたちがゲストティーチャーに日本の昔遊びを紹介しました。「はないちもんめ」、「おりがみ」、「おはじき」、「福笑い」などを身振り手振りも交えながら英語で説明し、一緒に楽しみました。6年生は、これまで身に付けた英語を駆使しながら「福笑い」で遊びました。ゲームも会話も盛り上がり、ゲストティーチャーも大喜びでした。さすが6年生です。英語の学びの積み重ねを感じました。



最後は、「フリートークQ&A」です。自分があらかじめ準備した質問とサイド帳（パスポート）をもって、ゲストティーチャーとのやりとりを楽しみました。みんな臆することなく、積極的にゲストティーチャーに話しかけます。保育園から慣れ親しんできている「英語」で、相手とつながる喜びや楽しさが子どもたちの表情から伝わってきました。

10/21 本物体験「わらび座 体験＆鑑賞」（中学校）

本物の舞台芸術に触れること。そして、劇団の俳優さんから直接指導を受ける体験型ワークショップを通して、コミュニケーション力や表現力を高めることが、本活動のねらいです。今年は、仙北市の「あきた芸術村」に出かけました。



わらび座の稽古場にて、ワークショップスタートです。インストラクターの俳優さんの指導の下、演劇の稽古を取り入れたワークショップを行いました。たくさん体を動かして、さまざまなコミュニケーションゲームに取り組みました。心も体も解放してのゲームは本当に楽しく、笑顔と笑い声にあふれたワークショップとなりました。インストラクターの俳優さんからは、「一緒に活動して、みんなの『共感力』の素晴らしさに驚いた」とお褒めの言葉をいただきました。

おいしい昼食の後は、いよいよミュージカル「秋田は何もない」（作：内館牧子）の鑑賞です。題名を聞くと、一瞬ドキッときますね。秋田弁が満載の、笑いあり、涙ありのミュージカルだったようです。鑑賞後の生徒の感想を一部抜粋して紹介します。さて、秋田は何もなかったのか、それとも・・・。



- ・劇団員のみなさんの演技に、見ているうちにどんどん引き込まれていきました。
- ・このミュージカルを見て、「秋田のよさ」について改めて考えさせられました。秋田弁ももっと詳しく知りたくなりました。
- ・まず、このタイトルに心を奪われました。最初は同じように思っていた自分でしたが、最後には秋田に大きな魅力を感じていた自分がいました。
- ・秋田発のミュージカルを見られてとてもうれしかったです。次は家族と来たいです。